

令和 2 年 2 月 5 日

福島大学附属幼稚園が ソニー幼児教育支援プログラムにおいて最優秀園を受賞

ソニー教育財団は、教育・保育実践の論文を募集し、優れた取り組みを行う学校や園等に対して教育助成を行っています。本学附属幼稚園では、今年度ソニー幼児教育支援プログラムに応募した結果、153 件の応募の中から最優秀園に選ばれ、令和 2 年 1 月 18 日、ソニー本社で行われた贈呈式に参加し、研究発表をおこないました。

附属幼稚園では、「自ら考え行動する子どもを育てる」ことをめざして保育実践を行っています。そのような実践を、ソニー幼児教育支援プログラムのテーマである「科学する心を育てる」という視点からまとめました。昨年度応募した論文では奨励園に選ばれ、応募した論文は、ソニー教育財団のサイトの実践事例集「保育のヒント」において、「深い学びにつながる対話」のタイトルで抜粋して掲載されています。

今年度は、昨年取り組んだ実践に加え、当園の自然環境における幼児のさまざまな気づきとそれを深めていく保育者の援助についての事例研究を通して、3 歳から 5 歳までの子どもの科学的思考の成長過程を明らかにすることを試みました。ソニー幼児教育支援プログラムにおいて、国立大学法人附属幼稚園が最優秀園に選ばれたのは、2002 年に本プログラムが発足して以来 2 園目です。全国国公立幼稚園・こども園長会長の新山裕之氏からは、「国公幼の名誉である」とのご祝辞をいただきました。園ではいただいた助成金で、園庭の環境をさらに整え、福島の子どもの戸外遊びの充実をめざして保育を推進していくつもりです。論文タイトルなど、以下の通りです。なお論文はソニー教育財団のサイトに全文が掲載されています。

- ・論文タイトル：「自分で考え、試そうとする子どもを育てる　生き生きとした体験や安心して伝え合える環境を通して」
- ・教育助成　　：200 万円とソニー製品（データプロジェクター他）
- ・最優秀園実践発表会：令和 2 年 7 月に予定

（お問い合わせ先）

附属幼稚園

園長 白石昌子 ・ 副園長 星俊子

電話：024-534-7962

メール：youchien@adb.fukushima-u.ac.jp



自分で考え、試そうとする子どもを育てる
— 生き生きとした体験や安心して伝え合える環境を通して —



目 次

はじめに

- (1) 科学する心をどう捉えるか 1
- (2) 本年度の実践の背景 2

I 実践事例

(1) 3歳児

- 事例1 アリさんにご飯、あげたんだよ 3
- 事例2 ザリガニのはさみは食べられちゃったんだ 3
- 担任の考察 5

(2) 4歳児

- 事例1 ザリガニ眠いのかな 5
- 事例2 みどりいろのたね 6
- 担任の考察 7

(3) 5歳児

- 事例1 めだかの赤ちゃんいたよ 8
- 事例2 「野口博士」に聞いてみよう 9
- 事例3 あれで試してみればいい 9
- 事例4 消しゴムに匂いをつけたら釣れるかな? 10
- 担任の考察 11

(4) L児の育ちから科学する心を考える

- 事例1 これ、毒きのこなの? 12
 - <考察>
- 事例2 大根の花から大根できるかな? 13
 - <考察>
- 事例3 字が読めたら、いろんなことわかるのかなあ 14
 - <考察>
- 事例4 ありがとうの芋は浮かぶ 16
 - <考察>
- 事例5 これは種なの? 17
 - <考察>

II 科学する心の成長過程 18

おわりに (今後の課題・取り組み) 20